

テーマ

五島列島最北端の島における「課題解決型キャリア教育」

目標

地域の自治体や事業所などと協働しながら様々な課題の解決を目指す探究活動を行う中で、生徒が地元の良さを再発見するとともに、諸活動やその成果を地域に発信する。これらの活動を通して、「ふるさと」への愛着を育むとともに、将来、地域や社会に対して主体的に行動できる人材を育成する。

育成したい  
資質・能力

ふるさとへの  
愛着と誇り

思考力、判断力、表現力  
コミュニケーション能力

学びに向かう  
主体性・協働性

将来、リーダーとして活躍  
することのできる能力

外部連携機関  
(行政機関・事業所)

- 宇久行政センター
- 宇久町観光協会
- 宇久小値賀漁業協同組合

連携

協働

長崎県立宇久高等学校

(普通科1・2・3年、生徒数13名)

小中高一貫教育運営協議会

〔委員長〕佐世保市教育委員会教育長 〔副委員長〕宇久高校校長

佐世保市教育委員会学校教育部長、宇久行政センター所長、宇久コミュニティセンター所長、宇久地区自治協議会会長、宇久地区自治協議会健全育成部部长、宇久町観光協会会長、宇久幼稚園園長、宇久高校教頭、宇久高校事務長、宇久高校PTA会長、宇久中学校校長、宇久中学校教頭、宇久中学校PTA会長、宇久小学校校長、宇久小学校教頭、宇久小学校PTA会長

宇久高共育デザインサミット

〔会長〕宇久中学校校長 〔副会長〕宇久小学校校長

宇久行政センター所長、宇久地区自治協議会会長、宇久町観光協会会長、宇久島離島活性化協議会会長、宇久行政センター産業建設課長、宇久高校同窓会会長、宇久高校校長、宇久高校PTA会長、宇久中学校PTA会長、宇久小学校PTA会長、学識経験者、長崎県教育庁高校教育課

Uku Labo運営委員会

〔委員長〕宇久高校校長 〔副委員長〕宇久高校教頭

探究主任、教務主任、進路指導主事、生徒指導主事、1学年主任、2学年主任、3学年主任、各学年探究担当

<主な取組>

○ 総合的な探究の時間 Uku Labo

(1) 探究の基礎学習・課題設定 (1年生) (2) 実践的探究活動 (2年生) (3) 探究活動のまとめ (3年生)

○ Uku Labo地域塾

(1) 宇久島を「学びのキャンパス」として、農業・漁業・畜産などの体験活動に取り組む。  
(2) 宇久島の自然や歴史、郷土にかかわる学習について、地元有識者の解説を聞きながら史跡などを巡る。

○ 小中高一貫教育

(1) 小中高12年間を見通した充実したキャリア教育を実施する。  
(2) 新入生歓迎行事、海岸清掃、駅伝大会などの行事を通して異年齢との交流を図る。

○ 研究成果の発表

(1) Uku Labo生徒発表会 (令和7年12月)  
外部連携機関、宇久小学校、宇久中学校、地域住民および保護者などを対象とした発表会を実施する。連携校が相互に発表動画を視聴し、アンケートに回答する。

成果  
指標

- (1) 「自分は宇久の自然を大切にしていると思いますか」に対する「している・まあまあしている」と回答した児童・生徒の割合 100%
- (2) 「宇久島が好きですか」に対する「とても好き・好き」と回答した児童・生徒の割合 98.2% ※(1)(2)は『令和6年度宇久地区小中高一貫教育 研究紀要』
- (3) 「故郷が抱える問題について認識を持つことは大切だと考えるようになった。」に対する四段階評価 4 ※(3)(4)は、「4」が最高点となる。
- (4) 「Uku Labo地域塾」は、島の魅力を再発見できる学びの場だと思う。」に対する四段階評価 3.8 ※『Uku Labo令和6年度 成果集』

地域社会 (保護者を含む住民、産業、文化、歴史等)

- 佐世保市立宇久小学校
- 佐世保市立宇久中学校
- 宇久保健福祉センター
- 佐世保市社会福祉協議会
- ながさき西海農業協同組合